

回覧用							

発行日	令和5年6月1日
発行元	災害対策課
所属長	森本 仁信
電話	06-6489-6165

防災



防災対策情報便

令和5年5月号

1 災害情報電話サービスの番号が変わります！！

令和5年7月から災害情報電話サービスの番号が、



050-5536-6953 に変わります。



このサービスでは、気象情報や避難情報など防災行政無線で放送した最新の災害情報を音声で聞くことができます。

スマートフォンやインターネットで情報が取得できない場合や、「防災行政無線のスピーカーの音が聞こえなかった」というときにご活用ください。

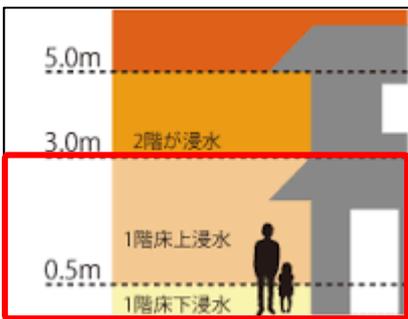
なお、電話番号のかけ間違いにはご注意ください。

(※通話料金は利用者負担になります。)

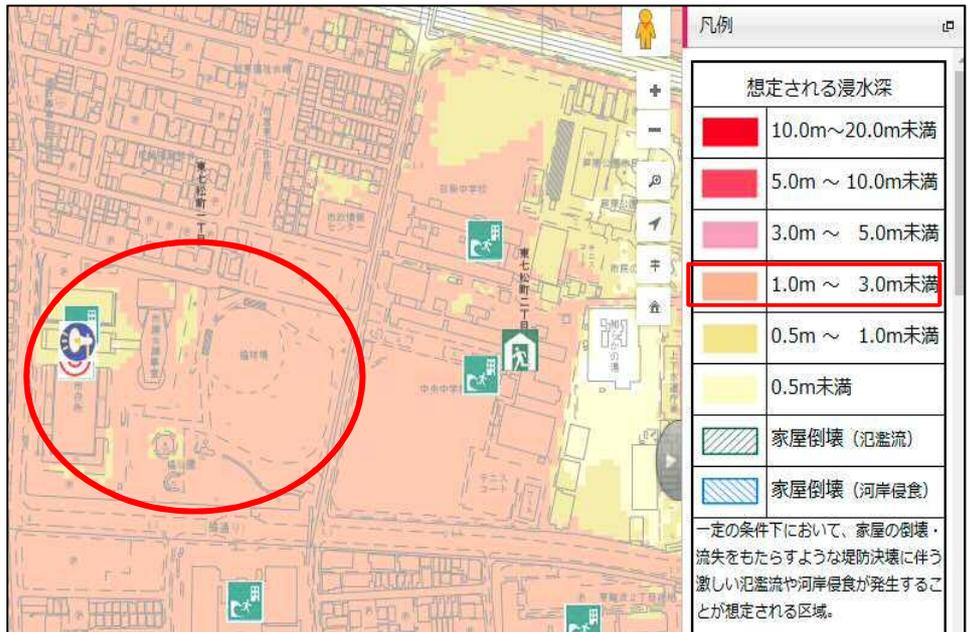
2 風水害に対する備えを確認しましょう

1

自宅や勤務先などの周辺をハザードマップで浸水想定を確認しましょう



【武庫川洪水ハザードマップ】
例えば、尼崎市役所本庁舎では1.0～3.0mの浸水が想定されています。



2

洪水などの災害発生時の避難場所や避難経路を確認しましょう



注目!

避難する際は、通行可能な大きな道をとって、避難しましょう。また、道路の寸断や冠水などによって通行ができない場合もあるため、避難ルートは複数考えておきましょう。



【津波等一時避難場所】

避難対象地域外への避難が困難な場合に安全に移動できるまでの間、緊急かつ一時的に垂直避難するための建物を指します。



【指定避難場所】

災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険がなくなるまで中長期間に渡って避難生活をする場所です。小中学校の体育館などが代表的な場所となります。

3

避難情報(警戒レベル)を確認しましょう

【警戒レベル 3】

高齢者等避難→高齢者等(避難に時間を要する方や障害のある人等)は、危険な場所から避難。

【警戒レベル 4】

避難指示→危険な場所から全員避難。

【警戒レベル 5】

緊急安全確保→立退き避難することがかえって危険である場合、直ちに上階や近隣の堅牢な建物に避難する。

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保※1 さんぎゆうあんぜんかくほ
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~	
4	避難指示※2 ひなんしじ
3	高齢者等避難※3 こうれいしゃとうひなん
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)



# 4 非常持ち出し品を確認しましょう

## 基本品目32点 大人2人分の目安

※は救急袋の中に入れておく。

- 非常持ち出し袋 1個
- 缶入り乾パン(110g) 2個
- 飲料水(500mlペットボトル) 6本
- 懐中電灯 2個
- ローソク 2本
- ライター 2個
- 携帯ラジオ 1台
- 十徳ナイフ 1本
- 軍手・手袋 2組
- ロープ(5m~) 1本
- 救急袋 1枚
- 毛抜き※ 1本
- 消毒液※ 1本
- 脱脂綿※ 適当量
- ガーゼ(滅菌)※ 2枚
- ばんそうこう※ 10枚~
- 包帯※ 2巻
- 三角巾※ 2枚
- マスク※ 2枚
- 常備薬・持病薬など※ 適当量
- レジャーシート 1枚
- サバイバルブランケット 2枚
- 簡易トイレ 2枚~
- タオル 4枚~
- ポリ袋 10枚
- トイレットペーパー 1ロール
- ウェットティッシュ 2個
- 現金(公衆電話用の小銭) 約50枚
- ガムテープ(布製) 1個
- 油性マジック(太) 1本
- 筆記用具 1セット
- 生理用品

## 個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

### 必需品・貴重品類

- 車や家の予備鍵
- 予備メガネ・コンタクトレンズ等
- 預金通帳(写)
- 健康保険証(写)
- 運転免許証(写)
- パスポート・外人登録証等(写)

### 赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- 哺乳瓶
- おやつ
- 離乳食
- スプーン
- 洗浄綿
- バスタオル
- ガーゼ
- 紙おむつ
- 母子手帳
- 玩具
- 着替え
- ベビーカー
- おんぶひも
- 毛布

### 高齢者用品

- 高齢者手帳
- おむつ
- 着替え
- 持病薬
- 予備メガネ
- 看護用品

出典 大阪市福島区

# 5 家族で情報共有をしておきましょう



## 【情報共有のポイント】

☞ 連絡を取り合う方法を共有する。(災害用伝言サービス「171」を利用する)  
(記録する)

①「171」をダイヤル②「1」を選ぶ③自分の電話番号をダイヤル④録音する  
(再生する)

①「171」をダイヤル②「2」を選ぶ③相手の電話番号をダイヤル④再生する

☞ 家族が離散している場合、どこで待ち合わせするか、どこに避難するかを決めておく。

子どもがいるご家庭であれば通学路の確認や、お年寄りがいる場合は日中の行動パターンなどを確認してください。

### 3 高潮による浸水のおそれがある場合は早めの避難行動を！

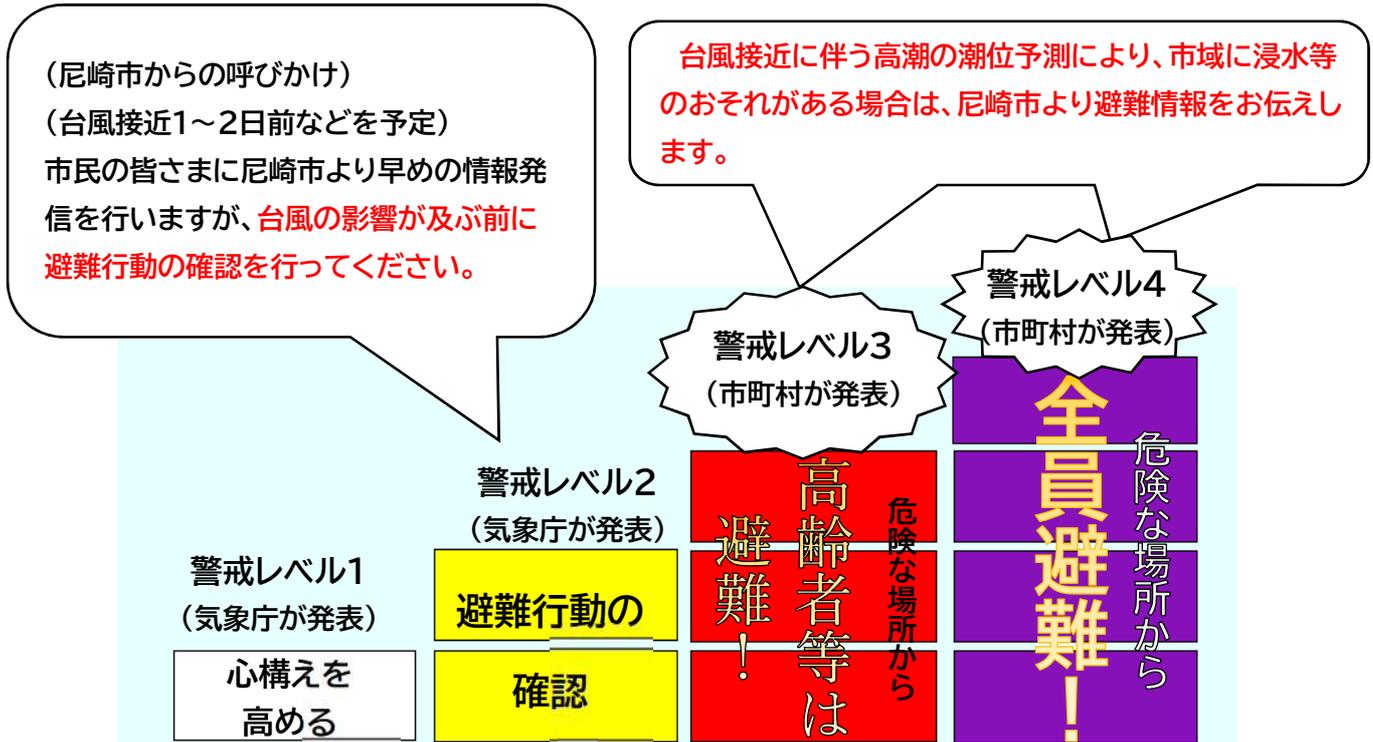
過去最大級の巨大台風の接近等で

高潮による浸水等のおそれがある場合は・・・

気象情報等をもとに**早めの避難行動を！！**

警戒レベル4で危険な場所から**全員避難！！**

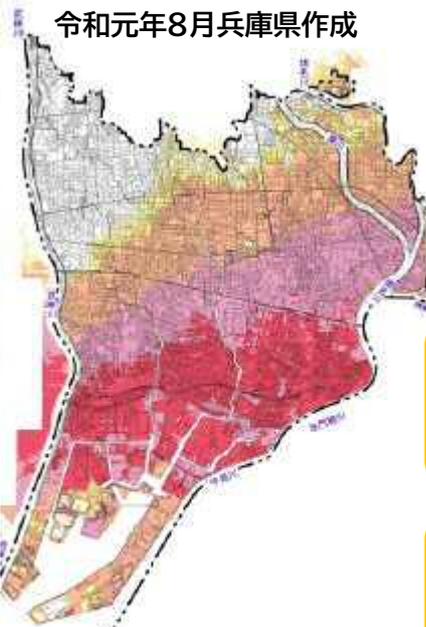
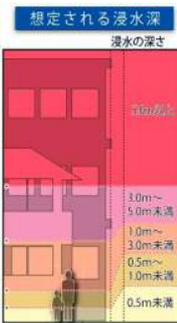
高潮発生に伴い市域が浸水等のおそれがある場合に、尼崎市より避難情報をお伝えします。



〈尼崎市域の高潮浸水想定区域〉  
令和元年8月兵庫県作成

想定される浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m～ 5.0m未満
- 1.0m～ 3.0m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 0.5m未満



高潮は台風と連動した現象で、地震(津波)と異なり、気象情報等をもとに早めの避難が可能です。

尼崎市からの「警戒レベル3や警戒レベル4」の発令を待つことなく、ゆとりをもって避難し、安全を確保しましょう。

「避難」は「難」を「避」けることです。安全が確保されていれば自宅で待機することも避難方法のひとつです。

避難先は、公的な避難場所に限りません、近くの親戚・知人宅等への避難について日ごろから相談しておいてください。